

地区民待望の運動広場

飯野校区の西地区に完成

飯野校区西地区運動広場が、小池字柳原の高台に完成、7月17日地区民や関係者50人が出席して落成式がありました。

この運動広場は、町が約350万円をかけて整備した芝生広場と駐車場で、総面積は3851㎡。180度の展望が開けたすばらしいロケーション。

落成式では、住永町長が「これまでご不便をおかけしていましたが、みなさんのご協力で、立派な運動広場が完成しました。どうぞ有意義にご活用ください」とあいさつ、地区を代表して小池秋永嘱託員の増田弘明さんへ管理をお願いする協定書を手渡した後、お礼の言葉を述べられました。また、用地を提供した

式の後、早速グラウンドゴルフを楽しんでいました。



グラウンドゴルフの始球式で落成式を祝いました。

政令指定都市を考える

「政令指定都市セミナー in 益城町」開催

8月9日、町総合体育館で、約1,000人の町民を集め、熊本県主催の「政令指定都市セミナー in 益城町」が開催されました。

まず、主催者として蒲島知事が「政令指定都市の実現は、県発展の大きな牽引力となるもので、県全体の発展と熊本都市圏の発展、さらには益城町の発展につながるものであり、益城町の皆さんにその意義を考え、理解を深めてもらいたい」とあいさつしました。

また、事例講演として、新潟県旧豊栄市長で総務省合併サポーターである小川竹二さんが「合併・政令市移行による新しいまちづくりについて」と題し、政令市となった後の地域の状況と大都市と合併した周辺地



多くの町民で埋まったセミナー

域が、どのように主体性を持ちまちづくりを進めているかなどについて講演しました。

交流試合で韓国へ

F Cビッグウェーブの少年たち

益城町の少年サッカークラブ「F Cビッグウェーブ」の23人は、8月23日から3日間、韓国の高陽市を訪問し、地元の家庭でホームステイをしながら、サッカーの交流試合をしました。

これは、熊本県サッカー協会韓国交流事業の一環として実施されたもので、昨年までは、県全体からの選抜チームが派遣されていました。しかし昨年12月、高陽市のサッカー協会の一行50人が来町し、益城町と親睦を深めたこともあって、今年は単独のチームで行くことになりました。

少年達は、3日間の滞在でしたが、交流試合や、観光などを楽しみ、ホームステイで韓国の生活や文化も味わったようです。



韓国を訪問したFCビッグウェーブイレブン

地域ぐるみで取り組みを

社会を明るくする運動の出発式

第58回「社会を明るくする運動」の啓発パレード出発式が、7月17日役場玄関前で関係者60人が参加して行われました（町保護司会主催）。

町保護司会の上村光徳会長が「これまでのわたしたちの更生活動は、プライバシーを重視してきましたが、今後はもっと積極的に地域ぐるみで推進していきたい」と決意を述べ、住永町長が「保護司会のみなさんの日頃の地道な活動に対して、心から感謝とお礼を申し上げます。わたしたち町の職員も、より一層認識を深め、自分たちひとりひとりの問題として真剣に取り組めます」と激励しました。

パレードは、車両3台を連ねて町内一円を巡回しました。



役場前を出発するパレードの広報車